

うちぬきスタンプラリー 10kmコース

スタンプをすべて押して回ると、西条市総合文化会館で記念のうちぬきバッジを差し上げます。

ラリーポイント詳細情報

1 西条市総合文化会館

音楽を中心として、演劇、映画、集会等の多目的な機能に対応。また、市民の皆様が、文化活動に参加し、創作活動を発表する場として利用されています。

うちぬき水汲み場…総合文化会館の西側、アクアトピア水系の噴水の近くのうちぬきを飲むことができれば水飲み場を設置しています。市内外から多くの方が訪れています。

観音湧水…加茂川扇状地の先端部付近には、多数の湧水群が弧を描いて分布しており、加茂川右岸側には、観音水、三軒家泉、天皇泉、松ノ木泉等が加茂川、御舟川、サラサラ川の源となっている。

300m

2 観音堂(禎祥寺)

天正の陣で戦った林瑞和尚ゆかりの寺。天正の陣の戦死者を弔う送り火が、8月17日に行われる花火大会です。県の天然記念物に指定されている、樹齢約400年のノダブシがあります。根回りは2.2m、高さは3m、枝張りは東西16m、南北14mに広がり、棚いっぱい切り整えられています。満開の頃には県内外から多数の観覧者が来られます。

西条産業情報支援センター…新事業の創出や新分野への進出を始め、あらゆる企業活動の支援と情報化を推進するために西条市が設立した、公設民営型の産業支援機関です。

400m

3 大通寺

宝暦4年(1754年)の飢饉の際に尽力した高僧密元のお墓がある。山門は旧西条藩の陣屋から移設された、当時の面影を残す立派なもの。観音水からの流れもあり街中のオアシス。

ホテルの里…ほたるの里と名づけられたここでは、5月末ころにちらほらホテルの飛ぶ姿が見られます。

西条市立図書館…蔵書数40万冊の規模を有し、最新の自動化書庫システムやCシステムを導入するとともに、学習室・ミニオフィス等学びの場を提供し、ひとつづりやまちづくりとともに、仕事と暮らしに役立つ図書館を目指しています。

榎の木橋…藩政時代、佐竹酒店西側の元徳常寺遺跡の所に、大木の榎(なぎ)の木があった。

300m

4 西条市総合福祉センター

障害者や高齢者を含むすべての市民生活に配慮した施設、ふれあいトレーニングルーム、娯楽室、特別浴室、水浴訓練室などの設備のほか、中央保健センターをはじめ、在宅介護支援、子育て支援、ボランティアなどの各種施設があります。

元伊予製紙跡地…西条市古屋敷(伊予製紙跡)にある「西条藩 紙方役所・紙蔵跡 西条奉書(伊予紙)生産の地」碑です。碑文には「江戸時代、西条産の手すき和紙、奉書紙(伊予紙)は「いよまさ」と呼ばれ、浮世絵用として高い評価を受けていた。西条藩は良質の水に恵まれた、ここ古屋敷の紙すき場を直営とし、和紙の専売制を布いたのである。」と刻まれています。

250m

5 神野歯科

当院は、昭和18年の先代の開業以来、今日まで歯科診療を通じて地域の皆様のために、日々研鑽に励んでいます。

元関西染染跡地…西条の豊富な水を利用して染染会社があったが、水糸整備の一環として廃業となった。

新町泉…水の都西条を象徴する、水のスポット。伊曾乃神社の祭礼の際には穴場として人気がある。

石の筧…西条市神拝西新町の新町川にかかる筧橋の横にある、用水が川を横切ったり谷を跨ぐ場合に架ける筧(かけひ)・筧渡井(かけとい)です。

ときめき水都市…平成7年に、生産者の顔が見える直販所としてオープン! 以来、お客様の口コミで安さ・新鮮さが伝わり、平日は主に地元のお客様に、土、日は隣りの新居浜地区や近県など遠方のお客様にもご利用いただいています。

500m

6 ニュースポーツ

西条高校のすぐ西側にあり、幼児より年配の人まで、幅広い層にご利用いただいております。お客様が手にとって見やすいように日々努力しております。

旧西条藩陣屋跡…史跡、1636年一柳直重により築造され、その後、松平頼純から10代頼英まで200年間、西条は親藩3万石の城下町として繁栄した。陣屋大手門は西条高校の正門として今も使用され、威厳と風格に満ちた風情が感じられる。

150m

7 五百亀記念館

日展文部大臣賞や日本芸術院賞など数々の賞を受賞した郷土の彫刻家 故 伊藤五百亀氏の市内に設置されている作品を紹介いたします。日本美術界の重鎮であった五百亀氏の真摯で誠実な人柄を反映した、伸びやかで重厚な作品に直接触れることができます。

北御門…1636年に陣屋とともに敷地北側に建てられたのが最初とされ、現存する門は約180年前に建て替えられたとみられる。藩士の通用門として使われた門は近辺で移設が繰り返され、1965年から陣屋跡東の大手門(西条高正門)北側に仮設置され、2013年に現在の場所に修復移転された。

愛媛民芸館…全国から集められた民芸工芸品、生活用具等を展示した土蔵造り様式の民芸館。中心は江戸時代のもので、伊予かすり、四国の陶磁器等もある。

市立郷土博物館…故田中大祐氏が西条の文化発展のために寄贈された資料を整備して昭和28年に開館した。

大手門…陣屋跡には現在、高校が建てられています。この門の両側には、腰巻土塁の一部が残っており、また向かって左手方向には北御門が移築されています。

350m

8 四軒町郵便局

和風で丸ポストのよく似合う郵便局です。昭34.吉村製。

擇善堂跡地…擇善堂(たくぜんどう)は西条藩の藩校であり、北堀端に設けられ、日野和煦や三品容斎などが教官を務めた。その扁額は八代藩主頼啓(よりゆき)の筆で西条小学校にある。

らんかん橋…西条高校の北側にあり、旧西条市民には有名です。橋自体は大きくありませんが、よく目立ちます。

700m

9 西条市漁業協同組合

産業道路の樋之口交差点の東南に、今年1月にオープンした西条市漁業協同組合「漁師のひもの」があります。ここでは獲れたての鮮魚を、冷風乾燥機で乾燥させた干物や魚のふりかけや加工品、魚を使ったお惣菜などが販売されています。

鮮魚市場…新鮮な地魚を中心に、旬の魚介料理を手頃な価格で味わえる。メニューは定食や丼、握り寿司など豊富で、七輪で焼いて堪能できる海鮮焼が人気。鮮魚市場で購入した魚介を、好みに応じて食事処で調理してもらえます。

350m

10 弘法水

海から湧き出る清水。本陣川が海に注ぐところの海の中から弘法大師の加持水と言いつたらしい清水が湧き出しています。

西条漁港…旧西条地区唯一の大規模な漁港。多くの漁船がもやい、カモメが乱舞している、夕焼け時の産業道路の港大橋からの眺めは実に素晴らしい。漁船には数々の大漁旗が取り付けられ、風にはためくさまも風情がある。

港大橋…事業主体者:愛媛県、施工場所:西条市樋之口、工事概要:耐震補強工事(水中コンファインド工法)橋脚1基、完成年月:平成18年3月。

新堀石鎚常夜灯…本陣川沿いにあり、弘化3年(1846年)に建てられたものです。昔はここが石鎚参詣の上陸港として賑わっていました。

西条港…西条市の発電所がある西条港。港内岸壁と左右にある波止が釣り場。波止は投げ釣り人気ある場所です。釣り物は投げ釣りでのハゼ、キス、セイゴ、サヨリなど。

1,000m

11 三洋倉庫(株)

倉庫業を主力とする企業です。

港橋…大正10年架設。歴史の重さを感じるコンクリート橋。こうらんに灯りが入る。また、近くには旭橋や、クラレへの水道橋として建設されたと思われる吊り橋もあり、水都西条らしい風景となっている。

クラレ…(株)クラレ西条事業所は、昭和11年7月、大原孫三郎氏が「倉敷紡織」の名で創立し、地域とともに歩んできた西条を代表する企業の一つ。

中央病院…現地の倉敷レイオン社員と地域住民のための病院として、倉敷レイオン西条工場前に1954年に設立された。1984年10月に倉敷中央病院から独立して新たに医療法人同会会の経営となり2009年12月1日に社会医療法人となった。

700m

12 (株)宮嶋組

昭和11年創立、「建設工事を通じてお客様にご満足していただく」がモットー。

唐樋水門…海水の逆流を防ぐ治水施設。御舟川の水面に美しいアーチが映える。

御舟川緑道…西条の産業道路(壬生川新居浜野田線)から、御舟川に沿って遊歩道が設けられている。約1kmの遊歩道で、対岸には、西条運動公園及びアサヒビール四国工場が見えてくる。

1,000m

13 西条市東消防署

ドリーマー玉姫殿から西へ約50m、火災や救急救助などの災害に対応するため日々訓練を積み重ね、24時間体制で西条市の安全を守っています。

ドリーマー玉姫殿東側、御舟川まで戻って、右岸沿いに南進。

御舟川…御舟川(おふなかわ)は、伊勢神宮に祭られている天照大神の分霊を、伊曾乃台地に祭る時、分霊を乗せた船が着いた川である。

石碑…石碑を超えると二手に分かれますので、東方向の川沿いに歩いてください。

1,500m

14 光明寺

1520年頃、釈智雲(入江主計)によって開基、釈常真(6代目住職)西条市加茂川の堤防構築の土木工事を完成。西条市発展の礎を開く。本堂は世界の建築家・安藤忠雄氏による設計で、水に浮かぶ様に建つ優美な姿は、木、コンクリートが調和して見事です。

清水橋…川の流れに沿って歩いてください。

朝日町…村上病院の北側に出ましたら、西に向かって歩き、突き当たりを南進してください。

750m

15 高橋薫書店

愛媛健康書店会に所属、全国の健やか君取扱店、健康書を推進しています。

西条国際ホテル…都会的な雰囲気漂う7階建てのシティホテル。伊予西条駅から近く、観光やビジネスの拠点として便利が良い。

300m

16 伊予西条駅

西条市の代表駅であるとともに、普通列車の大部分の運転系統が当駅で分断されるほか、当駅を始発とする特急が設定されているなど、運転上の拠点駅にもなっている。1921年(大正10年)6月21日に開業。1日平均の乗車人員は、約1,300人。

観光交流センター…昭和8年に建築された倉庫を改修したレトロな建物。中には「石鎚山」の紹介、全国利き水大会で2年連続1位になった名水百選「うちぬき」の試飲コーナー、西条市民が熱く燃える「西条まつり」のだんじりの展示など、西条の魅力を知っていただける展示が数多くあります。

四国鉄道文化館…大胆な木造建築の館内には、昭和39年の新幹線開業時に登場した初代0系新幹線と、主に四国で活躍した準鉄道記念物に指定されている「DF50形ディーゼル機関車」1号機が展示されています。

十河信二記念館…新居郡中村(のちの中萩町、現在の新居浜市)出身で新幹線建設に尽力した第4代日本国有鉄道総裁十河信二の記念館である。十河信二の遺品が展示されているほか、玄関前と館内に伊藤五百亀作の十河信二胸像が展示してある。入館料無料。

ぼっぼ橋…伊予西条駅の東側に整備を進めていた市道:伊予西条駅自由通路南北線、名称「ぼっぼ橋(はし)」が開通しました。自転車を2台乗せることが出来るエレベーターも併設していますので、自転車をおして橋を渡ることが可能です。

ふたな庵…様々な紙製品が置かれていて、うちぬきウォークラリー句碑設置。

500m

17 ギャラリーかわにし

常設および企画展では、安倍安人、安藤義茂、野間仁根、古茂田守介、中西良、池西剛ほか多数の作家作品、また、日本画、掛け軸、版画など絵画全般を扱っています。石彫公開制作、青山さんの石彫がある。

お祭り庄助…西条だんじりの写真がすべて展示されている、青石つくばいもあり。

妙昌寺…寛永13(1636)年、開基領主一柳丹後守公が母妙祝日栄大姉と夫人妙昌日繁大姉の菩提を弔うために創建され、日栄山妙昌寺と名付けられた。後二代で一柳家は改易となり、紀州徳川家御次男松平頼純公が赴任して、一柳氏は勿論西条藩の菩提寺となる。

八坂神社…徳川中期に当地方に疫病が流行したとき、京都八坂神社より勧請奉斎した。その後疫病治まり祇園さんと呼ばれ、現在、紺屋町の守護神として篤く崇敬されている。

紺屋町フロム…フロム周辺は、2013年中心市街地の再開発地区として完成、集客地区として期待される。

350m

18 明治屋

明治屋には商店街で最古の「うちぬき」があります。日本一の名水に思いを馳せ、特撰純米大吟醸酒「水どころ」を醸造致しました。香りさわやかコクと甘みにキレがあり、酸味と後味スッキリの上品な銘酒です。おヒヤでどうぞ。

200m

19 イマオカ電機

栄町商店街の中ほどに位置する。(株)西電、ひうち本社に統合。

200m

20 住吉神社

200年来の崇敬の篤い神社と云う。明治中期に湯川某が特に崇敬し、家運隆盛となった神恩に感謝し、現境内地に寄進し、社殿を建立したという。近年商店街に信仰せられていく。ちなみに西条のうちぬき水は、全国利き水大会で2年連続おいしい水日本一に輝いている。

200m

21 佐竹酒店

ビール、日本酒、焼酎、ワインと地元のお酒も用意しています。

五輪塔…登道交差点から少し西へ寄った所の石垣の中に、古い五輪塔が祀られている。天正13年(1585年)、羽柴(豊臣)秀吉の四国侵攻の命を受けた小早川隆景3万の軍勢が、長宗我部元親を討つべく伊予に上陸。東予地方では金子備後守元宅(もといえ)を総大将に約3千の兵がこれを迎え撃った。徳常寺の任瑞和尚は、禎祥寺(喜多川の観音さん)の林瑞和尚とともに華々しく寄せ手の軍勢と戦ったが、両寺は焼失し、相次いで戦死した。時に天正13年7月17日。任瑞和尚の死を悼み、徳常寺の境内の一角に葬り、この五輪塔を建立した。

200m

全行程 10,200m
お疲れ様でした! ゴール!!
西条市総合文化会館にて記念のうちぬきバッジをお受け取りください。